

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算①



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

- (1) $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル6

1 0.1

2 1

3 0.8

4 8

(答え)

- (2) $5.21 + 0.7$ を、 0.01 をもとにした式に表します。

5.21 と 0.7 は、それぞれ 0.01 を何個集めた数になりますか。

下の **ア**, **イ** に入る数を書きましょう。

レベル6

$$\begin{array}{ccc} 5.21 & + & 0.7 \\ \downarrow & & \downarrow \\ \boxed{\text{ア}} & + & \boxed{\text{イ}} \end{array}$$

(答え)

ア

イ

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算②



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

レベル4

- (1) $6.3 + 0.22$ の答えを 6.52 と求めました。
この答えが正しいかどうかを、次のように^{たしか}確かめます。
下の㊦, ㊧, ㊨に入る数を書きましょう。

㊦ - ㊧ を計算して, ㊨ になるかどうかを確かめます。

(答え) ㊦ ㊧ ㊨

- (2) 下の3つの数の中で, いちばん小さい数と, いちばん大きい数を書きましょう。

レベル5

7.1 7 7.01

いちばん小さい数・・・ いちばん大きい数・・・

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算③



年 組 番 名前

次の計算をしましょう。

(1) $4.65 + 0.3$

レベル5

(2) $6.79 - 0.8$

レベル6

(3) $0.75 + 0.9$

レベル5

(4) $10.3 + 4$

レベル5

(5) $6 + 0.5 \times 2$

レベル6

--

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算④



年 組 番 名前

次の計算をしましょう。

(1) $100 - 20 \times 4$

レベル5

(2) $16 - (6 + 3)$

レベル3

(3) $2 \div 5$ (わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。)

レベル3

(4) $6 \div 5$ (わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。)

レベル4

(5) $2\frac{5}{7} + 1\frac{1}{7}$

レベル3

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑤



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

- (1) ^{ししやごにゅう}四捨五入して一万の位までのがい数にしたとき、20000になる整数を、
下の **1** から **5** までの中から**すべて**選んで、その番号を書きましょう。

レベル7

1 14500

2 15000

3 19500

4 24999

5 25000

(答え)

- (2) ある数を3でわったら、商が9であまりが2でした。
ある数を求める式を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その
番号を書きましょう。

レベル6

1 $9 \div 3 + 2$

2 $9 \div 3 - 2$

3 $3 \times 9 + 2$

4 $3 \times 9 - 2$

(答え)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑥



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

答えが $100 - 20 \times 4$ の式で求められる問題を、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル5

- 1** 1 個 100 円のガムを 1 個と、1 個 20 円のあめを 4 個買いました。
代金はいくらですか。
- 2** 100 円玉を 1 枚持^{まい}って買い物に行きました。1 個 20 円のあめを 4 個
買いました。おつりはいくらですか。
- 3** 1 本 100 円のペンと 1 本 20 円のえんぴつを、4 本ずつ買いました。
代金はいくらですか。
- 4** 1 本 100 円のペンが 20 円引きで売られています。そのペンを 4 本
買いました。代金はいくらですか。

(答え)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑦



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

はるなさんたちは、学習した九九の表についてふり返りました。

まず、九九の表の、2の段と3の段に着目し、縦に並んでいる2つの数について話し合いました。

次に、九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

かける数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

かけられる数



はるな

横に並んでいる3つの数「4, 5, 6」の和を求めると、 $4 + 5 + 6 = 15$ で、15です。15は、「4, 5, 6」の真ん中の数5の3倍になっています。



ひろと

横に並んでいる3つの数「18, 21, 24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。



はるな

それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようなのかな。

ゆうかさんたちは、横に並んでいる 5 つの数「6, 12, 18, 24, 30」について調べました。



横に並んでいる 5 つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和を求めると 90 です。90 は 18 の 5 倍になっています。

ゆうかさんの話を聞いてはるなさんは、次のように説明し直しました。

【はるなさんの説明】

横に並んでいる 5 つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和 90 は、真ん中の数 18 の 5 倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が 7 つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

2 の段^{だん}の、横に並んでいる 7 つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

レベル 7

(かいとうらん)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑧



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

はるなさんたちは、学習した九九の表についてふり返りました。

まず、九九の表の、2の段と3の段に着目し、縦に並んでいる2つの数について話し合いました。

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

← 2の段

← 3の段



はるな

2の段の「4」と3の段の「6」、この2つの数「4, 6」の和は10です。「6, 9」の和は15です。「8, 12」の和は20です。どの和も5の段の数ですね。



ゆうか

「2, 3」の和は5です。「18, 27」の和は45です。やはり、5の段の数ですね。



ひろと

「8, 12」の和と、「18, 27」の和が、5の段の数になるわけを考えて式に表しました。

【ひろとさんの考え】

「8, 12」のとき

$$\begin{aligned}8 + 12 &= 2 \times 4 + 3 \times 4 \\&= (2 + 3) \times 4 \\&= 5 \times 4 \\&= 20\end{aligned}$$

「18, 27」のとき

$$\begin{aligned}18 + 27 &= 2 \times 9 + 3 \times 9 \\&= (2 + 3) \times 9 \\&= 5 \times 9 \\&= 45\end{aligned}$$



はるな

【ひろとさんの考え】のように、 $(2 + 3)$ とまとめることで、かけられる数が5になります。だから、5の段の数ですね。



ゆうか

2の段と3の段の縦に並んでいるほかの2つの数のときも、 $(2 + 3)$ とまとめることで、かけられる数が5になります。だから、2の段と3の段の縦に並んでいる2つの数の和は、5の段の数ですね。



ひろと

それでは、4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数の和は、9の段の数なのかな。

4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数の和は、9の段の数になります。9の段の数になるわけを考えて式に表します。

- (1) 4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数「32, 40」の和が、9の段の数になるわけを【ひろとさんの考え】と同じように考えて式に表します。下の㍷, ㍹にあてはまる式を書きましょう。

レベル6

$$\begin{aligned}32 + 40 &= \boxed{\text{㍷}} \\&= \boxed{\text{㍹}} \\&= 9 \times 8 \\&= 72\end{aligned}$$

㍷

㍹

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑨



年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

さくらさんたちは、学校の黒板に輪かざりをつけようと思い、先生から折り紙をもらいました。折り紙の枚数は100枚でした。

1枚の折り紙からは、折り紙の輪を5個作ることができます。

折り紙の輪を30個つなげて、輪かざりを1本作ります。

輪かざり1本の作り方

- ① 折り紙を同じはばで5つに切ります。



- ② 切った折り紙のはしの部分にのりをつけて、もう一方のはしの部分と重ねてはりあわせると、折り紙の輪が1個できます。



- ③ 折り紙の輪を次のようにつなげていきます。



- ④ 折り紙の輪を30個つないだものを、輪かざり1本とします。

さくらさんたちは、図1のように、横の長さが7 mの黒板を、50 cmずつに区切って、上の部分に輪かざりを1本ずつたるませながらつけようと計画しています。

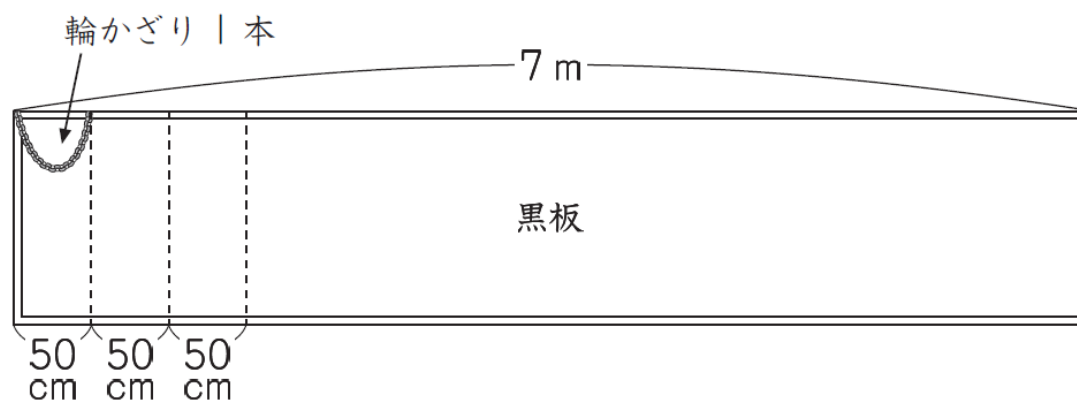


図1

横の長さが7 mの黒板の、はしからはしまで輪かざりをつけるためには、折り紙の枚数が100枚あれば足够了。

そうたさんは、そのわけを、次のように説明しようとしています。

【そうたさんの説明】

黒板の横の長さは7 mなので700 cmです。

黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

【そうたさんの説明】に続くように、折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを、式や言葉を使って書きましょう。

レベル8

(かいとうらん)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑩



年 組 番 名前

- (4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのかが
気になり、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考え
ました。

【かいとさんが考えた式】

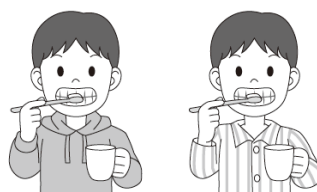
$$6 + 0.5 \times 2 = \text{ア}$$



かいと



洗顔 1 回に 6 L 使う。
1 日 1 回^{あら}洗う。



歯みがき 1 回に 0.5 L 使う。
1 日 2 回みがく。

【かいとさんが考えた式】の、アに入る数を書きましょう。

レベル 6

(答え)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑪



年 組 番 名前

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

レベル9

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、

ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、

ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、

差は変わりません。

このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができるとい、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{ccc} 400 \div 25 = \square & & \\ \downarrow \times 4 & \downarrow \times 4 & \nearrow \text{変わらない} \\ 1600 \div 100 = 16 & & \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの $\square$ は、16 です。

$$\begin{array}{ccc} 90 \div 18 = \square & & \\ \downarrow \div 9 & \downarrow \div 9 & \nearrow \text{変わらない} \\ 10 \div 2 = 5 & & \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの $\square$ は、5 です。

ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようなになりますか。

下の□の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

(答え)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑫



年 組 番 名前

【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$600 \div 15 = \boxed{\text{~~~~~}}$$

$\downarrow$

①

 $\downarrow$

㊦

$\downarrow$

②

 $\downarrow$

㊦

$$\boxed{\text{㊦}} \div \boxed{\text{㊦}} = \boxed{\text{カ}}$$

だから、 $600 \div 15$ の答えの ~~~~~ は、キ です。

上の①にあてはまるものを、下の[]の中から1つ選び、また、上の②にあてはまるものを、下の□の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでもかまいません。

① $\times 2, \div 3, \div 5$ ② $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の㊦, ㊦, カ, キに入る数を書きましょう。

レベル7

(答え)

①		②	
㊦		㊦	
カ		キ	

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑬



年 組 番 名前

図1のように並んだ ^{なら}○ の個数の求め方を考えます。

レベル4

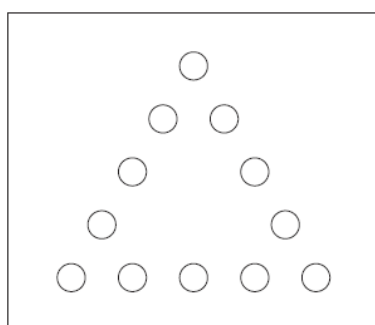


図 1

図2，図3のように ○ を囲み，○ の個数の求め方を式に表しました。

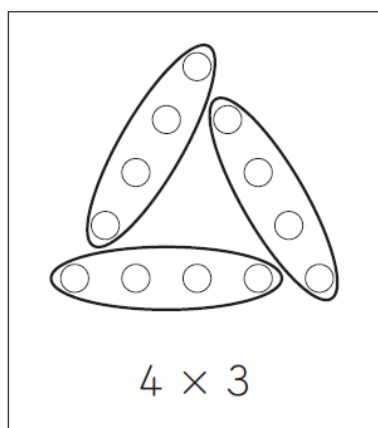


図 2

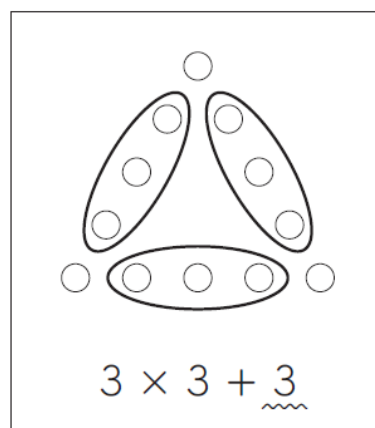


図 3

図3の式の 3 はどの ○ を表していますか。

上の図3の、あてはまるすべての○の中をえんぴつで黒くぬりましょう。